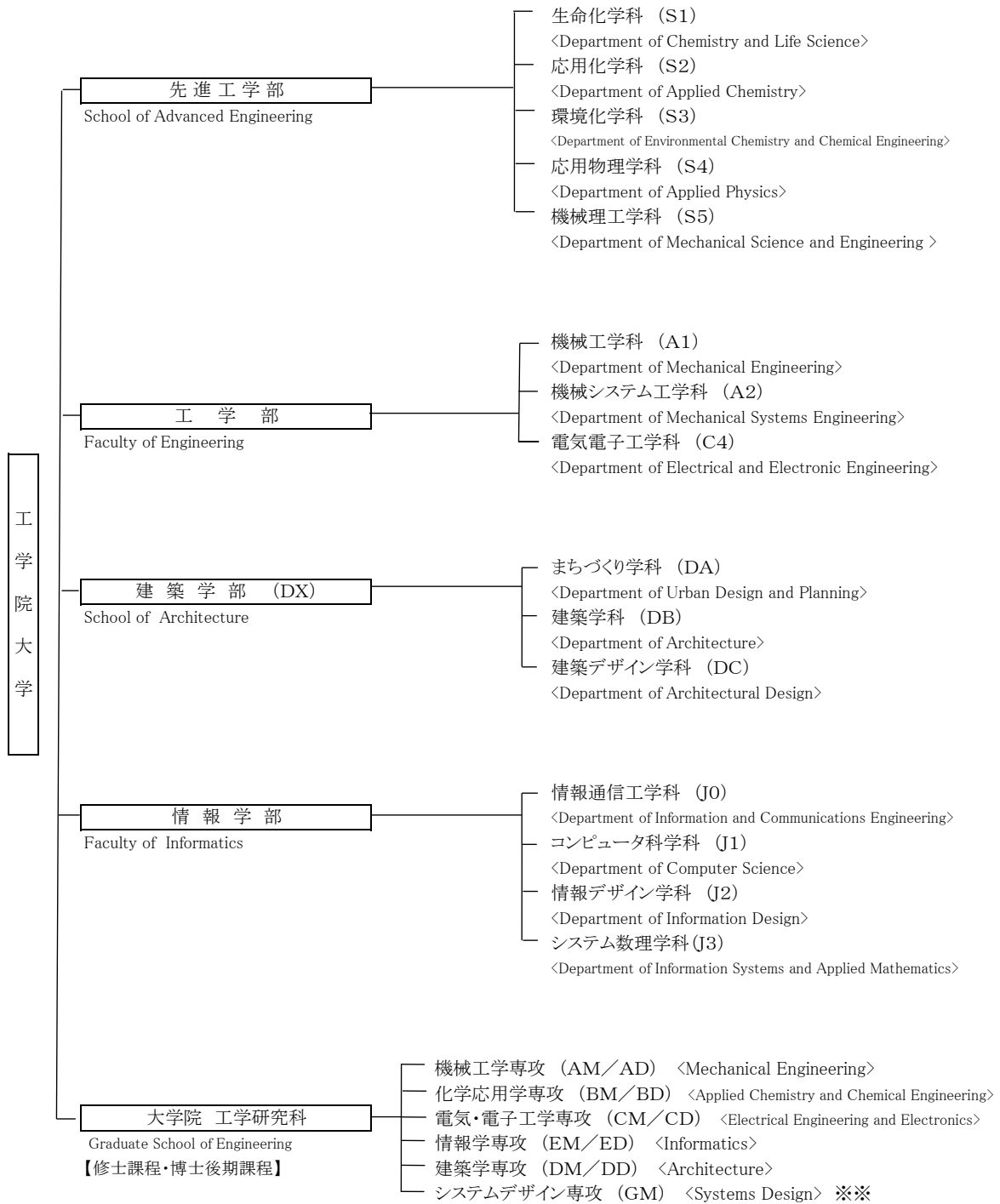


工 学 院 大 学  
KOGAKUIN UNIVERSITY



※※修士課程のみ

2019年度 大学教員役職者名簿

2019/3/5現在  
学務部学務課

組織	旧学科	所属	学長 選任	役職	職位	氏名	新任
大学		学長室	—	学長	教授	佐藤 光史	
			○	副学長(統括・企画担当)	教授	鷹野 一朗	
			○	副学長(教学担当)	教授	渡部 隆史	
			○	副学長(安全推進・学生支援担当)	教授	遠藤 和義	
大学院			○	副学長(大学院担当)	教授	今村 保忠	
		研究科	○	大学院研究科長	教授	今村 保忠	
		機械工学専攻	○	大学院専攻長	教授	鈴木 健司	*
			○	大学院副専攻長	教授	立野 昌義	*
		化学応用学専攻	○	大学院専攻長	教授	高羽 洋充	
			○	大学院副専攻長	教授	南雲 紳史	*
		電気・電子工学専攻	○	大学院専攻長	教授	福岡 豊	*
			○	大学院副専攻長	教授	齋藤 秀俊	*
		情報学専攻	○	大学院専攻長	教授	真鍋 義文	
			○	大学院副専攻長	教授	中島 弘史	
		建築学専攻	○	大学院専攻長	教授	柳 宇	*
先進工学部			○	大学院副専攻長	教授	星 卓志	*
		生命化学科	○	学科長	教授	雑賀 高	*
			○	幹事	准教授	菱田 博俊	
		応用化学科	○	学科長	教授	坂本 哲夫	*
			○	幹事	教授	小山 文隆	*
		環境化学科	○	学科長	教授	安井 英子	*
			○	幹事	准教授	大倉 利典	*
		応用物理学科	○	学科長	教授	小林 元康	*
			○	幹事	教授	並木 則和	*
		機械理工学科	○	学科長	教授	関 志朗	*
			○	幹事	教授	赤城 文子	*
工学部			○	幹事	教授	尾沼 猛儀	
			○	総合幹事	教授	武沢 英樹	
		機械工学科	○	学科長	教授	堀内 邦雄	*
			○	幹事	教授	阿相 英孝	*
		機械システム工学科	○	学科長	教授	橋本 成広	*
			○	幹事	教授	久保木 功	*
		電気電子工学科	○	学科長	教授	山本 崇史	
			○	幹事	教授	大石 久己	
			○	幹事	准教授	小川 雅	*
			○	総合幹事	准教授	森下 明平	
		旧 応用化学科	○	学科長	教授	向井 正和	
		旧 環境エネルギー化学科	○	学科長	教授	(保留)	
		旧 情報通信工学科	○	学科長	教授	小山 文隆	*
		旧 情報通信メディア工学科	○	学科長	教授	安井 英子	*
		旧 建築学学科	○	学科長	教授	並木 則和	*
		旧 建築都市デザイン学科	○	学科長	教授	関 志朗	*
		旧 建築学学科	○	学科長	教授	水野 修	*
建築学部			○	幹事	准教授	山口 実靖	
		まちづくり学科	○	学科長	教授	山口 実靖	
			○	幹事	教授	山口 実靖	
		建築学学科	○	学科長	教授	山口 実靖	
			○	幹事	教授	山口 実靖	
		建築デザイン学科	○	学科長	教授	山口 実靖	
情報学部			○	幹事	教授	山口 実靖	
		情報通信工学科	○	学科長	教授	山口 実靖	
			○	幹事	教授	山口 実靖	
		コンピュータ科学科	○	学科長	教授	山口 実靖	
			○	幹事	教授	山口 実靖	
		情報デザイン学科	○	学科長	教授	山口 実靖	
グローバルエンジニアリング学部			○	幹事	教授	山口 実靖	
		システム数理学科	○	学科長	教授	山口 実靖	
			○	幹事	教授	山口 実靖	
		総合幹事	○	幹事	教授	山口 実靖	
留学生別科			○	別科長	教授	渡部 隆史	
		基礎・教養科	○	科長	教授	林 真理	*
教育推進機構			○	幹事	教授	高見 知秀	*
		国際キャリア科	○	科長	教授	大竹 敦人	
			○	幹事	教授	吉田 司雄	
		保健体育科	○	科長	教授	山田 朋美	
			○	幹事	教授	数馬 広二	
教育支援機構		教職課程科 (学芸員課程含む)	○	科長	教授	武田 典子	
			○	幹事	教授	内山 宗昭	
		情報科学研究教育センター	○	機構長	教授	安部 芳絵	
		図書館	○	所長	教授	渡部 隆史	
		学習支援センター	○	所長	教授	馬場 健一	
		教育開発センター	○	所長	教授	本田 徹	*
		科学教育センター	○	所長	教授	高見 知秀	*
総合研究所		○	所長	教授	吉田 司雄		
安全推進室		○	室長	教授	進藤 哲央	*	
国際交流委員会		○	委員長	教授	久保木 功		
		○	委員	教授	鷹野 一朗		
		○	委員	教授	小林 元康		
		○	委員	教授	渡部 隆史	*	

\*は2019年度新任  
職位は2019年4月現在

## 工学院大学大学院工学研究科の教育研究上の目的に関する規則

### (本規則設置の目的)

第1条 この規則は、工学院大学大学院学則第1条に則り、工学研究科の各専攻における人材養成等教育研究上の目的を定めるものである。

### (教育研究上の目的)

第2条 工学研究科は、独創的かつレベルの高い研究を展開して社会や人類に貢献するとともに、各専攻分野の原理・原則に関する深い知識と応用力を有し、学際的な視野にたつて判断できる技術者や研究者を育成することを教育研究上の目的とする。それを踏まえ、修士課程では専門教育に立脚した専門技術者や研究者を育成する。また、博士後期課程では先端研究領域を切り開くことのできる高度専門技術者や上級研究者を育成する。

2 前項に定める教育研究上の目的を踏まえ、各専攻の目的を次のように定める。

#### (1) (工学研究科機械工学専攻の教育研究上の目的)

本専攻は、エネルギー工学、材料・加工工学、設計工学、計測制御・ロボティクス、システム工学の機械工学の基礎分野の知識を十分習得した上で、さらに高度な先進化・統合化された知識・技術を習得し、自立して国際的に活躍できる広い視野を持った技術者・研究者を育成することを教育研究上の目的とする。

#### (2) (工学研究科化学応用学専攻の教育研究上の目的)

本専攻は、人間生活を豊かにする高度な物質変換技術、生命・医薬・食品分野に必要なバイオテクノロジーの推進、環境調和材料の開発、省資源及び省エネルギー技術、自然生態系との共存のための環境システムづくりという重要課題を「化学」を基盤に解決するため、従来の専門分野から一歩出た境界領域まで挑戦し、対応することのできる技術者・研究者を育成することを教育研究上の目的とする。

#### (3) (工学研究科電気・電子工学専攻の教育研究上の目的)

本専攻は、電気エネルギーシステムやエコロジー、情報技術(IT技術)に関わる基盤・要素技術など、社会から要請される高度な専門領域を学び、さらに研究活動を重視し、自ら考える能力、問題発見能力、問題解決能力を持つ技術者・研究者を育成することを教育研究上の目的とする。

#### (4) (工学研究科情報学専攻の教育研究上の目的)

本専攻は、情報を単に工学的な一要素として取り扱うのではなく、基礎、工学、社会科学、これらの融合／境界領域、未踏分野の5本柱を立て、ハードウェアからソフトウェアまで幅広くカバーすることのできる技術者・研究者を育成することを教育研究上の目的とする。

(5) (工学研究科建築学専攻の教育研究上の目的)

本専攻は、少子高齢化、情報化社会、国際化、建築技術者倫理などの問題・課題を解決するために必要な建築に関わる広い視野と高度な専門知識・技術修得を目指すとともに、国際性と実務能力を備えた建築家や技術者・研究者を育成することを教育研究上の目的とする。

(6) (工学研究科システムデザイン専攻の教育研究上の目的)

本専攻は、グローバルエンジニアに対する社会の要請に応えるため、工学関連分野の原理・原則に関する深い知識と応用力をベースとして、国際的に通用するコミュニケーション能力、幅広い視野と倫理観、強い目標達成意識、および経営センスを兼ね備えた技術リーダー・技術者・実践者を育成することを教育研究上の目的とする。

(雑則)

第3条 この規則に定めるもののほか本工学研究科の教育研究に必要な事項は別に定める。

(改廃)

第4条 この規則の改廃は、学長が大学院委員会の意見を聴いて行う。